2027 年度　東京大学病院　（病床数　一般1168床、精神40床　）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤	1,560円/時		有		有	有	一週あたり38時間45分とし、勤務割振表による変形勤務	10		有	有	診療科による	空室がある場合のみ入寮可能。（満室の場合は、入寮不可）	文部科学省共済組合，厚生年金，雇用保険，労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	1年次の内科研修6ヶ月（24週）の間に3診療科の病棟診療を経験することとなる。診療科の選択は研修医の希望を聴取するが、希望に添えない可能性がある。また、当院の内科11診療科のうち、感染症内科は選択できない。どの診療科及び病棟に配属されても、厚生労働省の掲げる内科に関する到達目標は達成できる研修内容となっている。
外科	2ヶ月（8週）間実施される外科研修では、外科系各診療科に特有の疾患や手術を経験することよりも「一般的な診療において頻繁に関わる疾病または負傷に適切に対応するために必要な基本的外科診療能力を身に付けること」を目標とする。即ち、縫合や創傷処置等の基本的手技を確実に行えるようになること、手術前後の全身管理の基本ができるようになることに重点が置かれる。 研修医からの希望聴取の上、「①大腸肛門外科、血管外科」「②肝・胆・膵外科、人工臓器・移植外科」「③胃・食道外科、乳腺内分泌外科」「④心臓外科、呼吸器外科」のいずれかに配属されて研修を行うが、必ずしも希望のグループに配属されるとは限らない。
救急科	3ケ月（12週）間の救急科研修は、救急・集中治療科において、救急外来、救急集中治療病棟の両方を経験する。救急診療における重症患者の ABC の管理からマイナーエマージェンシーの処置、集中治療における各種処置等を扱う。大学病院で不足しがちな臨床経験を豊富に経験することができる。なお、救急・集中治療科の研修では、シフト制による研修体制をとっている。
小児科	小児科・産婦人科・精神科のうち、1診療科1ヶ月（4週）。 なお、産婦人科は女性診療科・産科／女性外科のいずれかの配属となるが、女性外科に配属になっても当直勤務等で分娩に立ち会う機会を提供する。
産婦人科	
精神科	
一般外来	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
該当なし

○研修アピール
●全診療部門において優れたスタッフの指導の下、プライマリケアから高度専門的な医療まで幅広く経験ができる。
●指導者が豊富である利点を活かし、各種カンファランス、セミナー、講演会等、多彩な教育プログラムが用意され、臨床のみならず医療のさまざまな側面について、幅広く知識を深めることができる。
●同僚となる研修医がたくさんおり、切磋琢磨して研修を行うことができる。
●自分のキャリア・将来の医師像を考えるうえで多くのロールモデルと出会える。
●東大病院でしか診ることのできない貴重な症例が集まっている。
●職員食堂、研修医室、シミュレーションセンターなど、研修環境が充実している。

○研修医からのメッセージ
東大病院の研修は体制がしっかりしており、各分野に多くの指導医の先生がおられ疑問に思ったこと・困った症例等相談ができることが大きな魅力で、これほどの環境はなかなかないと感じました。各科の研修医を対象とした勉強会等も充実しています。同期研修医は約100名おり、ローテートにおいて多くの同僚と共に働くことになり、同じ立場から医師としての目標・考え方など様々な刺激を受けました。この刺激はモチベーションになると共に、今後も大切にしたい人間関係です。また、2年目の研修医から指導医の先生方まで、わからないことを聞ける上級医が大勢いるのも魅力の1つです。
珍しい難しい症例も多く経験でき、学会発表や論文作成の機会をいただくこともありました。救急では様々な診療科の初療にあたり、common diseaseも多く経験することができました。内科は総合内科体制をとっています。研修医は1つの診療科に配属という形ではなく、1つの病棟に配属という形になり、一病棟に複数の診療科の患者さんが入院されているところもあるため、私の場合半年で4病棟をローテートしたので、内科の中でほとんどの診療科を経験できました。さらに多くのコメディカルスタッフとも協力する機会があり、カンファで治療方針について相談するなど、チーム医療としての大切さを学べました。

研修実施責任者　　江頭正人

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：総合研修センター　菊池

住所：東京都文京区本郷７－３－１

TEL：　０３－５８００－８６０８

E-mail：　soken@adm.h.u-tokyo.ac.jp